

# 「霊における会話」を体験して 役員交流会参加者アンケート

	「霊における会話」の感想	よいと思ったこと	課題だと思うこと	「霊における会話」を取り入れていく際に必要だと思うこと
○	各グループに進行役の方がいてくださったので、霊的な会話の枠組み・ルールに沿って分かち合いができて大変よかったです。枠組み・ルールがあるからこそ、霊的な会話として成立するのだと思います。一人一人に時間が与えられたことも、とてもよかったです。徐々に心が開放されて、自我を押さえ、他者を理解しようとする気持ちになりました。動画視聴の研修だけでは実感できなかったと思いますので、とてもよい体験になりました。	枠組みとルール、それを管理する進行役の方がいることで、他者の声を聞くことに集中できる。	研修として行う以上仕方ないことだが、時間内に発表やグループとしてのまとめを行うこと。グループとしてまとめるには、さらに時間をかける必要があるのでは。	集中しやすい環境、例えば日常のことから気持ちを切り離された空間、十分な時間、参加者の心のゆとり。
○	相手の話を聴くことに集中できました。それによって、落ち着いて考える時間が持てました。聖霊が働いているのを感じました。	限られた時間の中で一人が長く話したり、その長い話を聞いている間に気が散ったりする事がない。考える時間がある。持ち時間があると、まとまりのある話をしようと自然に心がける事ができる。	話した後、次の段階に進むので後で補足ができない。時間が限られる。ゆっくりとしか話せない高齢者には不向きかも。	ある程度訓練されたリーダー、司会者の存在。

	「霊における会話」の感想	よいと思ったこと	課題だと思うこと	「霊における会話」を取り入れていく際に必要だと思うこと
○	<p>企業に勤めていた時に、会議を出来るだけ早く終わらせることと組織の活性化のために、相手の意見をよく聞くことと反対意見を言わないことについて、良く指導されていたことを思い出しました。</p> <p>話をする側に問題がある場合もありますが、反対の意見を言わないことで、対立が減り、前向きな議論が進むと思います。</p>	<p>自分以外の意見が出てきた背景を理解しようと努めることで、視野を広げて、いろいろな考え方に気づき、より公平にいろいろな問題や課題を討議できるようになる。</p>	<p>自分の意見の背景や理由を簡潔に入れて発言すること。</p> <p>自分の思い込みで、自分の意見の背景や根拠を抜かして意見を言うことが多いですが、それではなぜその意見を発言するか、理由がわからない人が多いと思います。</p>	<p>なぜ今このような取り組みを行うことに意味があるか、参加するメンバーに理解できる説明をすること。</p>
○	<p>・『聖霊の導き』によって成された黙想や分かち合いが、自分にとってとても良かったです。今までにない自分の内面を見ることができたと思います。</p> <p>・人の意見を『聞く』ことの重要性を学ばせていただきました。</p> <p>○ その中から、今の自分に必要な言葉を見つけることもできました。ただ静かに『聞く』ということは、日常になかったことも気づきました。</p> <p>・時間制限(3分)があったことで、分かちの内容を聞き逃さないよう、集中して聞くことができました。</p>	<p>いくつもの意見が出て、意見のグループ分けをした時に、かなり共通の意見があったことに気づき、『聖霊の導きによって』の分かち合いであることを実感できました。</p>	<p>集中している中で、自我が入り込み、発表する時に少しでも良い意見を出したいという思いが湧いてきてしまうことです。</p>	<p>『霊』に導かれて....の意味を、全員が人間的に理解することは難しいと思います。</p> <p>事前準備で、幾つかの聖書の箇所を読んで祈ってから入っていくといいのでは...と感じます。</p>

	「霊における会話」の感想	よいと思ったこと	課題だと思うこと	「霊における会話」を取り入れていく際に必要だと思うこと
○	<p>研修、ありがとうございました。 仕事の研修で受けるグループワークの研修スタイルだと思いました。講話を自分のものにするとき、聞くだけでは無理で、話すことで自分のものになる感覚があります。今回も同じグループの皆さんの思い考えを聞く事で、自分の中の思いが整理出来て、積み重なっていく感がありました。そこが良かったと思いました。</p> <p>最後の司教様の話を聞くと、誰かが道を示したり、導くのを待ちそれに従うというよりは、それぞれが深く考え思い巡らし、対話をおしてお互いの思いも知り、行動を起こすことが必要。それが今一番求められているように思いました。</p>	<p>互いの思いを知り自分の思いも明確にしていくところ</p>	<p>グループの方々の話を素直に聞いて、皆さんの話と自分の思考を重ねたり整理したりしながら深めていくところ。 そして、新たな思いに気づくところ。</p>	<p>もっと、シンプルにグループワークに慣れるように、ステップをふむこと。 話すことでも、書くことでもなく、心で聞かないと新たな話したいことは出てこない。 ポイントは、聞く事を大切にすることではないかと思っています。 これを伝えたいとも思います。</p>

	「霊における会話」の感想	よいと思ったこと	課題だと思うこと	「霊における会話」を取り入れていく際に必要だと思うこと
○	<p>キリスト者として聖霊を明確に意識し、祈り（共同の識別）の内に分かち合いと話し合いができたのは、人生で初めての貴重な経験でした。進めていく上で迷ったことは、第2ステップでグループが課題と感じたことについて、私は自分なりに考えられるその課題への対応方法を発表したのですが、ルール上そこまで踏み込んで発言して良かったのか、又は課題の内容をまとめることにとどめるべきだったのかということです。第3ステップでは、全参加者の発言内容について、メンバーで一つ一つ吟味しながら関連付けや体系付けを試みましたが、各自でそれらを自分なりに考えた上で、さらにメンバーと話し合って一致を見い出していくには、テーマ「希望」についての発言内容が幅広く、時間も限られていたのでとても難しかったです。霊における会話は、皆が普段からトレーニングをして慣れていくことが必要と感じました。</p>	<p>人間的な考えを排除し、御心が何であるかについて知ること（識別）ができること。またその識別が個人から共同で行うことで、識別の正しさ、確信の度合い、神の真理への味わいが、より深まることだと思います。</p>	<p>普段から聖霊による識別のトレーニングをしていないと、人間的な思考回路から抜け切れない弱さがあると思います。</p>	<p>人間が聖霊が語られることをできる限り正確に聴き取るためには、神の思いに同調できる心の受信機を備えておく必要があると感じます。そのためには聖霊が語られることを耳にしたことは、それをキリスト者として必ず忠実に実行し、いつでもどこでも御心と共に歩もうとする真摯な心が必要だと思います。「霊における会話」を取り入れるためには、教会共同体が一致してそのような心の養成に励むことが必要だと思います。また、普段の小教区評議会ですが、新しいことに取り組むことに抵抗を感じる信者（現状で良いと感じる信者）や、分かち合いを苦手としたり背を向ける信者が多いように感じます。そのような抵抗感を取り除いていくために、教会共同体への何らかの呼びかけや促しが必要に思います。</p>

	「霊における会話」の感想	よいと思ったこと	課題だと思うこと	「霊における会話」を取り入れていく際に必要だと思うこと
○	<p>希望をテーマにした「霊における会話」に参加できたことを感謝いたします。</p> <p>自分とは違った意見を受け入れることは、ともすれば自分の狭い枠の中で判断し、受け入れがたいものとしてしまいがちです。がしかし、理解や内容を深めるための沈黙と聖霊の働きを願う祈りを体験し、心が揺すぶられたように感じました。心地よかったです。又、同意見の方の悩みに共感し、また違った角度からのご意見にも共感することができ、沈黙を傾聴する体験でした。</p>	<p>相手の思いや考えに耳を傾け、心で受けとめることができる。</p>	<p>高齢者にとりましては耳が不自由になり、聞き逃すことが多々あります。失礼をお許しいただきながら、参加させていただきました。</p> <p>時間内に要約する力は経験かとおもいます。回を重ねながら修得したいと感じました。</p>	<p>一番の悩みは縦社会の重圧です。新しいことを取り入れる余地に乏しい方の意見に押されても、しっかり伝える信念を貫く勇気が必要だと感じています。祈りの内に体験することができる「霊における会話」の普及を望みます。</p>
○	<p>理解能力が乏しい私は、まちがった意見を発言したりしたとおもいますが、チームの皆さんのやさしさに助けられて体験できたことは良かったです。教会方々と霊における対話をして物事を決めるのはかなり難しいと感じました。ただ、個人的に自分の中で霊との会話をしながら、人の話を聞くことは相手を尊重でき、自分の心を平安に導いてもらえるということを感じましたので、とても良い体験でした。</p>	<p>自分を主張しない。相手を否定しない。神様の言葉を聞くこと</p>	<p>説明して、準備して、会話を進めること。</p>	<p>リーダーになってくれる人</p>

	「霊における会話」の感想	よいと思ったこと	課題だと思うこと	「霊における会話」を取り入れていく際に必要だと思うこと
○	<p>分かち合いは、苦手です。というのは、自分に自信がないので、人にどう思われるか意識してしまうから。人の発言に気持ちが引っ張られてしまうし、自分の考えがまとまらず、人が話しているときにも、自分の発言することを考えてしまうからです。今回の分かち合いのルールで一番良かったことは、それぞれの発表の後の沈黙です。霊による会話では、敬意を持って聞く、決まった長さの沈黙の時間を持つことで、いかに自分が聞くことができているかということに気づかされました。始めは、息を止めるような感覚で、ぐっと我慢！忍耐！という気持ちでしたが、ありがたいことに次第に慣れてきました。そして、沈黙の時間に、その方の言葉を味わうことの心地よさを感じられるようになりました。また、その方のお人柄も感じられるようになり短い時間でしたが、親しみを感じました。</p>	<p>人の話をしっかりと聞きながらも、しっかりと自分の意見、考えを持つことができる。しかし、自分の考えに固執することなく、いろいろな視点に気づかされ、よりよい話し合いができること。</p>	<p>霊における会話のやり方を皆が理解することが、大切と思いました。第2ステップで、第1ステップで発言しきれなかったことに固執されていた方がおられましたが、その時は、どうしたらよいのかわかりませんでした。また、第3ステップで、ポストイットを貼るとき、うまくまとめてくださった方がいらして、とても助かりました。が、本当に十分な話し合いでまとまったのか、遠慮されていた方がいらしたように思いました。もっとじかんがあれば、と思いました。</p>	<p>今回、ファシリテーターをしてくださった方が、とてもしっかりと準備をくださって、上手に進行してくださり、和やかに霊における会話を体験することができました。このようファシリテーターの育成、勉強会が必要だと思いました。</p>
○	<p>すごく良かったです。全員の声が反映されるというのが気に入りました。いろんな場所で実践してみたいです</p>	<p>全員の声が反映されること。祈りながら会議をすること</p>	<p>既に利害関係がある人、祈りの無い人は難しい</p>	<p>時間</p>

	「霊における会話」の感想	よいと思ったこと	課題だと思うこと	「霊における会話」を取り入れていく際に必要だと思うこと
○	<p>・役員研修会でざっと3ステップの方法は聞いていたが、具体的にどうするかわからなかった。今回、具体的に時間を決め行ったことで、方法が体感できた。・第一ステップでは問題に対する自分の考えを3分で発表、第二ステップでは、他人の発言を聞いたことで感じたことを2分で発表、その後、自分の考えをポストイットにまとめて記載。第三ステップでは、書き留めた内容を1分で発表しながら、用紙に貼る。最終的に全員でそれをグループ分けし、整理。・全グループが集まりそれぞれの模造紙のポストイットを掲示しながら、グループの会話を発表した。・いろいろな考え方がることが、ここで感じられた。</p>	<p>・全員が考える時間を持ち、発表し、他人の意見を聞いた上での考えも出し、最終的に一つにまとめるということ、主張の強い人に引きずられないで全員の考えをまとめることが出来た。</p>	<p>・ファシリテーターの手際良さが必要。・ポストイットへの記入、それをグループでまとめる点がなかなか難しかった。</p>	<p>・時間がかかる点が一つの問題。・会話のステップを理解したファシリテーターも養成が一つの問題。・高齢化していて、この手順や3分、2分、1分での発言についていけない方が多数いそう。</p>
○	<p>いつも行っている分かち合いに祈りと黙想が加わることで、それが良い「間」とも言うのか、それがすることによって、他の発言に対し、より背景や問題を理解しようとする気持ちになれるような気がした。</p>	<p>黙想の時間。これがあることで他の発言に思いをよせ理解しようとするよい時間になると思う。</p>	<p>時間制限を設けることは致し方ないと思うが、あまりシビアになるとせっかくの分かち合いが中断されたような気になる。(今回は体験なのでやむを得ない)</p>	<p>テーマの絞り込み。一同が共通の認識をもてるような具体的なテーマでないと、人によっては的が外れてしまいそうである。</p>

	「霊における会話」の感想	よいと思ったこと	課題だと思うこと	「霊における会話」を取り入れていく際に必要だと思うこと
○	良い経験になりました。特に、他者が話している間はただ聞くことに専念し、自分が次にどう話そうかと考えずに無心になることを学びました。そうすることで聖霊の働きかけに気づくことができるようになるのですね！先週、小教区でみなさんに伝えました。	聖霊の働きに気づくチャンスとなる	つい他者の発言に反応してしまう。待てないこと	タイマーを使いづらい、かな？
○	人の話しを聴き、自分の中で、「そんな考え方もあるのか」と今までの自分の考え方が、又、違う角度から見れる時、聖霊様が教えてくださったように思いました。又、私自身の意見を、時間内にしっかりと伝えられた時、聖霊様が助けてくださったように感じました。ステップ1、ステップ2、ステップ3とファシリテーターのもと、話し合えたのが、良かったです。時間内にダラダラと話すのではなく、大事なことを、しっかりと伝えられたことが良かったです。	自分が変わえられるところ と、時間内に自分の思いをつたえられるところ	難しいとは思いませんでした。会話の中に、聖霊様がいてくださるから。	ファシリテーターの存在。前もってしっかりと準備し、「霊における会話に」に臨むこと。
○	思ったよりスピリチュアルではなかった。これなら昔からよくあるブレインストーミングと変わらない。それに沈黙が加わっただけ。「霊」との会話をもっと重要視すべきではないか。	落ち着く時間が多いので、冷静に意見を集めることができる。コミュニケーションがとれる。思いがけない意見に発想が広がる。	時間がかかる。人は偏る。最後のまとめ役もどうしても偏りが生じてしまう。	雰囲気。今回みたいな感じでいいと思います。



	「霊における会話」の感想	よいと思ったこと	課題だと思うこと	「霊における会話」を取り入れていく際に必要だと思うこと
○	シノドスの教会を目指し、共同体として成すべきこととは？をグループの皆さんとともに考えることができた。他者の課題に耳を傾ける中で、自分の課題との重なりや違いを認識できた。	自分との対話や、他者の思いの汲み取りがゆっくりできた。	自分との対話で思いを整理すること（ぐるぐる考えが回ってしまう）、他者のことばに耳を傾けたとき、気になることを質問したくなったこと。	現在、地区単位等で分かち合いをしている。そこから導入していくことになると思う。指導していく者の力量が必要。
○	最初は普段の分かち合いのような感覚で始まったが、ステップが進むにつれ、どうしても今まで出た内容の総括や展開になる傾向があり、聖霊の導きによる新たな発見を見いだすのはなかなか困難だった。	自分の考えにとらわれずに、人の話を注意深く聞く訓練になる。	最初のQに書いたとおり、新しい発見に導かれること。	テーマ設定(具体的には分からないですが…)と時間、心のゆとり。

	「霊における会話」の感想	よいと思ったこと	課題だと思うこと	「霊における会話」を取り入れていく際に必要だと思うこと
○	<p>「霊における会話」について。西村桃子さんのシノドスの報告の資料のなかに、大きな会場に、たくさんの丸テーブルごとの話し合いが行われていて、教皇様もその中の一人として、参加されている写真が、とても印象的で、感動をもって見せていただきました。今回、事前にテーマなどが分かっていなくて、個人の準備不足があったのは、残念なことでした。祈ることにつきましても、聖霊に働いていただいた祈りだったのか、ぱっと自分の頭で考えたことなのか、難しいと思いました。結局、普段祈ったり、考えたりしていることが、でてくるのかなと思いました。発言を時間内にまとめることもむずかしく、自分の発言に囚われていたり、お一人お一人の話をその都度切り替えて、聞くこともむずかしいことでした。高齢者で、ハードルも高いですが、日々の祈りを深め、みんなが、少しでも訓練して、こんな話し合いができていくことに、とても希望を感じます。また、やってみたいと思いました。</p>	<p>神さまと、つながりを深めて、会話することは、一番大切なことだと思います。</p>	<p>聖霊が、働いてくださるような、祈りやあり方が、日々の生活となっているか。</p>	<p>気楽に、回をかさねること。各自が事前準備ができるようにすること。</p>
○	<p>初めての経験でしたが、丁寧に進めて下さり色々学ぶ事が出来ました。1人が自分の思いを話す毎に祈りの時間をとる事で、1人1人のお話がより自分の中に入ってくる感じがしました。否定的な事を言わない事で和やかな雰囲気会話ができるのでとてもよいと感じました。</p>	<p>会話の間に祈りの時間をとる事でより1人1人の思いが伝わってくる。相手の話に対して否定をしない事。</p>	<p>毎回決められた時間で自分の考えを話す事</p>	<p>進め方の実践的な学習</p>

## 「その他」によせられた意見

—「霊における会話」について—

- 3時間がビックリする程あっという間でした。素晴らしいグループでした。
- 時間が来たら音がなると、リセットされるような気がしました。「2分くらいで隣の人に回しましょう。」とか、だけでは無理なのではないでしょうか。
- 聖霊の識別、また識別による分かち合いや話し合いは、以前から関心をもち、カトリック新聞でもときどき取り上げられていましたので、教区で研修等を実施していただきたい希望がありました。今回、このように実現していただけてとてもうれしく思います。

—その他—

- シノドスの結果について、オンラインで京都教区の方針や計画を含めて説明する機会があれば、ダイレクトで教区の方針や計画を伝えられるので、行ってほしい。
- 他の教会の方々とも交流できることが有り難いです
- コロナ過でミサを免除したことが尾を引いているのと、高齢者や弱者（介護が必要な方等）が教会から遠ざかっておられます。以前は教会活動に熱心だった方の、燃え尽き症候群等を見ていて、何とかならないだろうかと思案しています。ご指導を頂けたら幸いです。
- 秋の交流会では霊の会話を継続するのもいいかと思いました。ただ、可能であれば、1教会から複数参加ができると、霊の会話に詳しい人が増えるのでいいように感じました。
- 交通費だけでも大変な出費でしたらうに。しかしその本気度は伝わりました。しっかり持ち帰りうちの教会でも実践していきたいと思います。皆さん、お疲れ様でした。
- ブロック会議をリモートで行っている中で、今回、他教会、他教区の方々とお会いできたことは有意義でした。
- 働くことができる人が減ってきて、手渡していくことが大変ですが、自身が、喜んで働かせてもらえるように、祈り願っています。